

国立病院機構南京都病院 院長
坪井知正

面会中止についてご協力のお願い

インフルエンザ流行シーズンを迎えた昨年12月より面会制限へのご協力をいただきありがとうございます。従来ですとインフルエンザ流行の終息に伴い面会制限を解除するところですが、日本国内において新型コロナウイルス感染症の感染拡大が生じており、さらに厳格な面会制限をお願いすることとなりました。

新型コロナウイルス感染者の約半数は無症状であり、無症状の方からも感染する可能性が報告されています。発病者の10%程度が重症化し、1から2%が死亡することが、ダイヤモンドプリンセス号のデータから判明しております。また合併症のある高齢者ではさらに死亡率が高いことも中国から報告されています。

当院に入院されている多くは合併症を有する高齢者や、抵抗力が弱いと考えられる障害者の方がほとんどです。一旦当院の病棟で新型コロナウイルス感染が拡大すれば、生命の危機にさらされる方が多数生じる可能性があります。

厚生労働省の新型コロナウイルス感染症対策の基本方針においても、高齢者施設等における施設内感染対策の徹底が求められています。

可能な限り新型コロナウイルスの院内感染を防止するため、職員の健康管理に努めるとともに、ご家族の皆様方にもさらなる厳格な面会制限をお願いせざるをえないと判断いたしました。もちろん、面会いただくことが患者さんにとって生きる力であること、面会制限が患者さんにご家族との貴重な時間を奪うことにつながってしまうことは重々承知しておりますが、事態の緊急性に鑑み、ご理解いただきますようお願い申し上げます。状況から面会制限が不要との判断がなされれば迅速に制限を解除させていただきます。

皆様の入院されている大切なご家族を守るため、必ずご協力いただきますようお願い申し上げます。